

スペインのお勧め
バル・レストラン
 Bares y restaurantes recomendables

Vol.17
Bar Los Diamantes
 バル・ロス・ディアマンテス
 (Granada / グラナダ)

グラナダには多くの魅力的なバルが存在するが、中でもグラナダを訪れると欠かさず通うバルがある。多くのバルやレストランで賑わうナバス通りの一角にある、ロス・ディアマンテスだ。

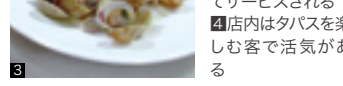
ひとくちに「スペインのバル」といっても、地域によって様々な違いがある。大きな違いのひとつ、そして、個人的にも関心があるのは、一杯のビールやワインに無料のタパスが付いてくるか、否か? という問題だ。

例えば、一般的には(もちろん、例外もあるが)バルセロナのバルではタパスは付いてこない場合が多く、マドリードの場合はポテトチップやオリーブの実、ナッツなど軽めのつまみが付いてくることが多い。そして、特に無料のタパスが大盤振る舞いの街といえば、グラナダを挙げる人も多いだろう。

そんなグラナダの中でも、このディアマンテスは特

にタパスが楽しみなバルのひとつだ。何と言っても作り置き料理ではなく、揚げたての熱々の魚のフライや、蒸したての貝など、作りたてのシーフード系のタパスを、一杯飲むごとに大盤振る舞いしてくれる太っ腹なバルなのだ。

そして、毎回付けてくれるタパスが違うので、ビールにワインにとついつい何杯も頼んでしまう。さらに、一人で訪れても、色々な味を楽しめるのが嬉しい。先日仕事のためグラナダで一泊することになり、例によって一人でロス・ディアマンテスを訪れた。この人気バルのファンは多く、カウンターとほんのいくつかのテーブル席はあっという間に満杯になってしまう。カウンターの片隅で押し合うようにして熱々のフライを摘みつつ、活気のある雰囲気を感じながら、「ああ、グラナダにやって来た」と実感するのだ。



1 2 厨房で揚げたての海老のフライが次々にカウンターへ運ばれる 3 アサリも無料タパスとしてサービスされる 4 店内はタパスを楽しむ客で活気がある

◆ Información

Bar Los Diamantes (バル・ロス・ディアマンテス)

住所 : Calle Navas 28, 18009 Granada
 電話 : +34 958 227 070
 HP : <http://www.barlosdiamantes.com>
 ※上記情報は、2017年11月時点のもので変更する可能性があります。



中村 美和 / Miwa Nakamura

情報工学修士、日本での電機メーカー勤務を経て、2007年に渡西。マドリードにていくつかの企業のウェブシステム開発等に携わった後、CROSSMEDIA WORKS,S.L.を起業。主に観光や食に関わるプロモーションや、雑誌、ガイドブック、テレビなどの取材コーディネート、マドリード情報を発信するtodomadrid.infoなどを運営。

Twitter: @n_miwa @spain.go

西宮市国際交流協会

スペイン語 おしゃべりの会

活動報告 2017.9.24

今回のテーマ

EL SALVADOR, EL PULGARCITO DE AMÉRICA
 (中米エルサルバドル、親指ほどの小さな国)

9月17日に予定していた「スペイン語おしゃべりの会」は大型台風18号が関西に上陸した影響で、次週の24日に延期となりました。急な変更で、出席できなかった方も数名いらっしゃいましたが、会場は満席になりました。今回のタイトルはEL SALVADOR, EL PULGARCITO DE AMÉRICA—中米エルサルバドル、親指ほどの小さな国一。西宮市在住のエルサルバドル出身の女性(主婦) Brillit Ochoaさんと、同国から日本に留学している妹さんの Marinaさんの2人で、楽しく話してくださいました。

まず国旗や、国章、それに国歌歌詞の紹介があり、お2人の強い愛国心を感じました。エルサルバドルは九州の半分くらいの面積の小さな国です。同国の概要を、統計などで説明してくれました。その中で印象に残っているのは、国木が日本の桜に似た花を咲かせること、通貨が米ドルであること、日本同様の地震国であることなどです。2016年の統計によると、人口は613万人で、アメリカへの移住者が250万人もいます。貧しいから出稼ぎ者が多いのでしょう。観光面では特に海岸が素晴らしいことや、盛大なお祭り Carnavalがあることなどを説明していただきました。さらに、民族衣装や、quesadilla(チーズと練り粉のケーキ)など、美味しそうな食べ物を写真で紹介。多くの素朴な民芸品も持参して見せてくださいました。

日本との関係で特記すべきは、2015年に眞子内親王が両国の外交80周年記念行事のため訪問されたことでしょう。今回の会をきっかけに、エルサルバドルに親しみを持った方は多くなったと思います。



文・写真提供 谷善三

▶ 次回開催のお知らせ

日時 : 2017年12月17日(日) 14:00 ~ 15:30
 ゲスト : David Fernándezさん (スペイン語講師)
 "Cádiz, la Tacita de Plata"
 (Cádiz, 小さな銀杯)
 場所 : 〒662-0911 西宮市池田町11-1 フレンテ西宮4階
 お問い合わせ先 : (公財) 西宮市国際交流協会
 電話 : (0798)32-8680 FAX : (0798)32-8678 E-mail : niaruka@chive.ocn.ne.jp
 参加費 : 500円 定員 : 30名 (先着順)
 ※お申し込みはお電話、FAX、E-mailにて / 11月20日(月)より受付開始